

オールインワンインストーラー サイレントインストール手順書 【ESET PROTECT on-prem 11】

第1版

2024年1月18日

Canon

もくじ

1. はじめに（本資料について）
2. インストーラーの作成
3. インストーラーのダウンロード
4. フォルダの作成
5. インストーラーの実行
6. 注意事項について

1. はじめに（本資料について）

1.はじめに（本資料について）

本資料は、ESET PROTECT on-prem で作成したオールインワンインストーラーを使用し、クライアントPCでインストールからアクティベーションの実施までをサイレントで実施する手順についてまとめた資料です。

本資料で想定している環境については以下のとおりです。

環境	
管理サーバー	【OS】 Windows Server 2019 【プログラム】 ESET PROTECT on-prem
クライアント PC	【OS】 Windows 10 Pro 【プログラム】 <ul style="list-style-type: none">• ESET Management エージェント• ESET Endpoint Security または ESET Endpoint アンチウイルス• ESET Full Disk Encryption• ESET Inspect Connector

※ESET PROTECT on-prem はすでに構築済みで利用可能かつESETソリューションはサポート対象バージョンを利用している前提です。

1.はじめに（本資料について）

- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。
- 本資料の画像はESET PROTECT on-prem V11.0で取得しております。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に問わず、禁じます。
- ESET、LiveGrid、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET PROTECT on-premは、ESET, spol. s r.o. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Macは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

2.インストーラーの作成

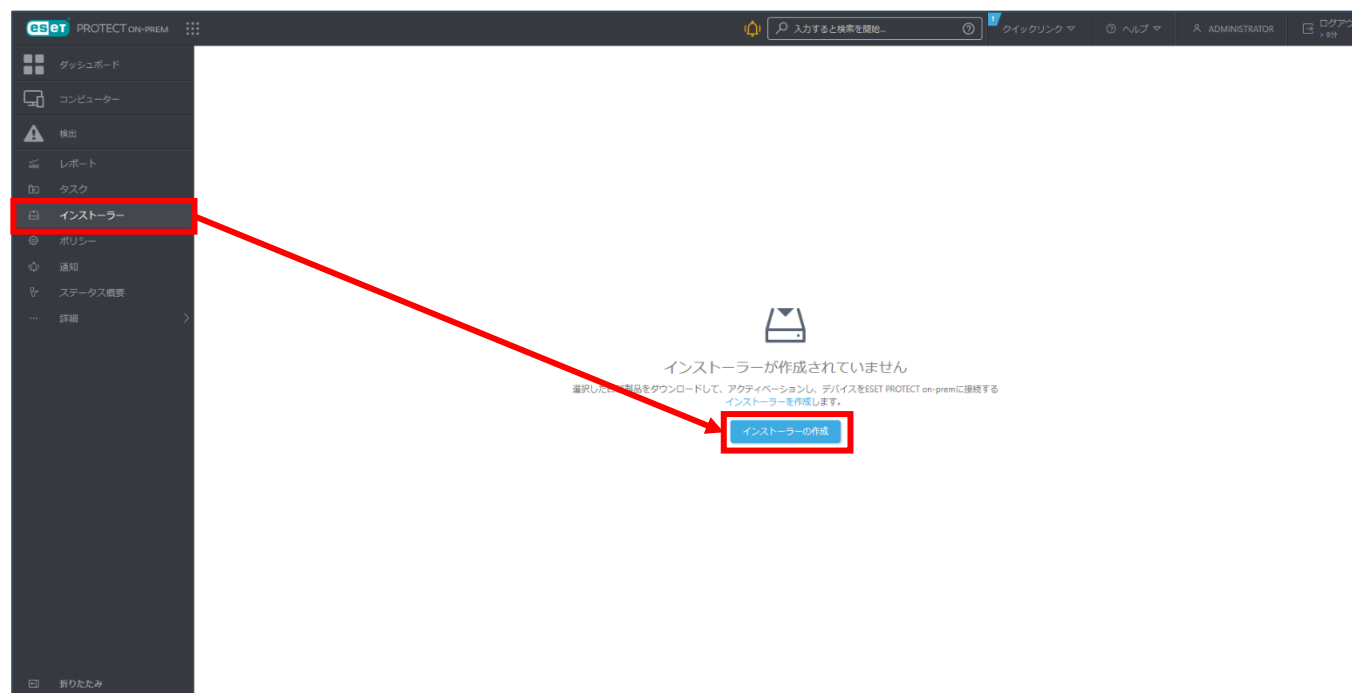
2. インストーラーの作成

インストーラーの新規作成

管理サーバーでの作業（ESET PROTECT on-prem）

ESET PROTECT on-premを開きます。

[インストーラー]セクションより、[インストーラーの作成] を選択し、新規のインストーラーを作成します。



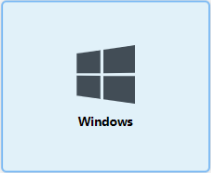

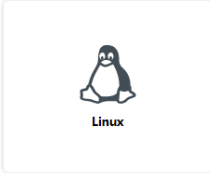
2. インストーラーの作成

パッケージの選択

[基本]の項目に遷移します。必要項目を入力し下にスクロールします。

インストーラーの作成
インストーラー > ESET Management Agent

基本
製品の設定
配布

配布

① ☒ インストーラーのダウンロードまたはESET Remote Deployment Toolの使用
☐ エージェントの最初の展開(エージェントスクリプトインストーラー)
☐ 展開のためにGPOまたはSCCMを使用

コンポーネント

② ☒ セキュリティ製品
☐ 完全ディスク暗号化
☐ ESET Inspect Connector

製品改善プログラム 推奨

③ ☒ 製品改善プログラムに参加する ①

親グループ

④ 選択 または 作成

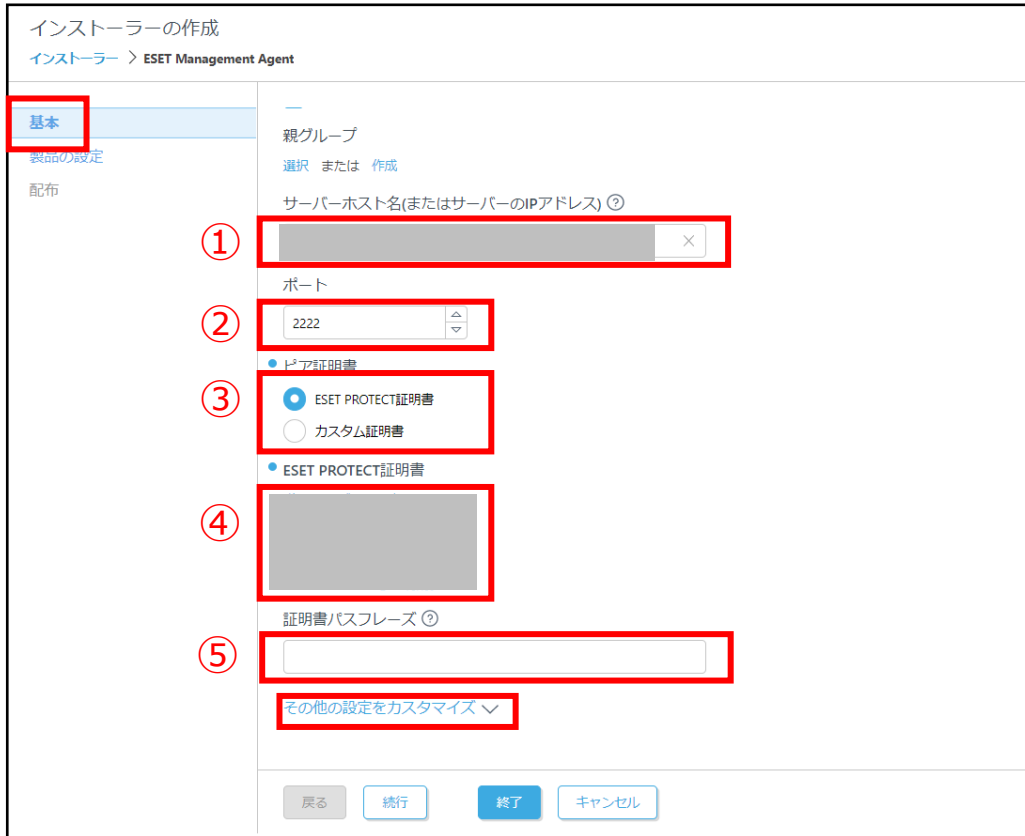
戻る 続行 終了 キャンセル

- ① [配布] から、[インストーラーのダウンロードまたはESET Remote Deployment Toolの使用] にチェックを入れます。
- ② [コンポーネント] から、[セキュリティ製品] にチェックを入れます。
※ [フルディスク暗号化製品] または [ESET Inspect Connector] をあわせて導入する場合は該当製品にもチェックを入れてください。(利用可能なライセンスを購入していない場合は表示されません)
- ③ [製品改善プログラムに参加する] にチェックを入れます。
- ④ [親グループ] は任意で設定します。※親グループを指定すると、インストール後に指定したグループに端末が所属します。

2. インストーラーの作成

証明書の設定

[基本]の項目の続きを設定します。必要事項を入力し、[その他の設定をカスタマイズ]をクリックします。



インストーラーの作成
インストーラー > ESET Management Agent

基本

製品の設定
配布

親グループ
選択 または 作成

サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) ①

ポート
2222 ②

• ピア証明書
☒ ESET PROTECT 証明書 ③
☐ カスタム証明書

• ESET PROTECT 証明書
 ④

証明書パスフレーズ ⑤

その他の設定をカスタマイズ

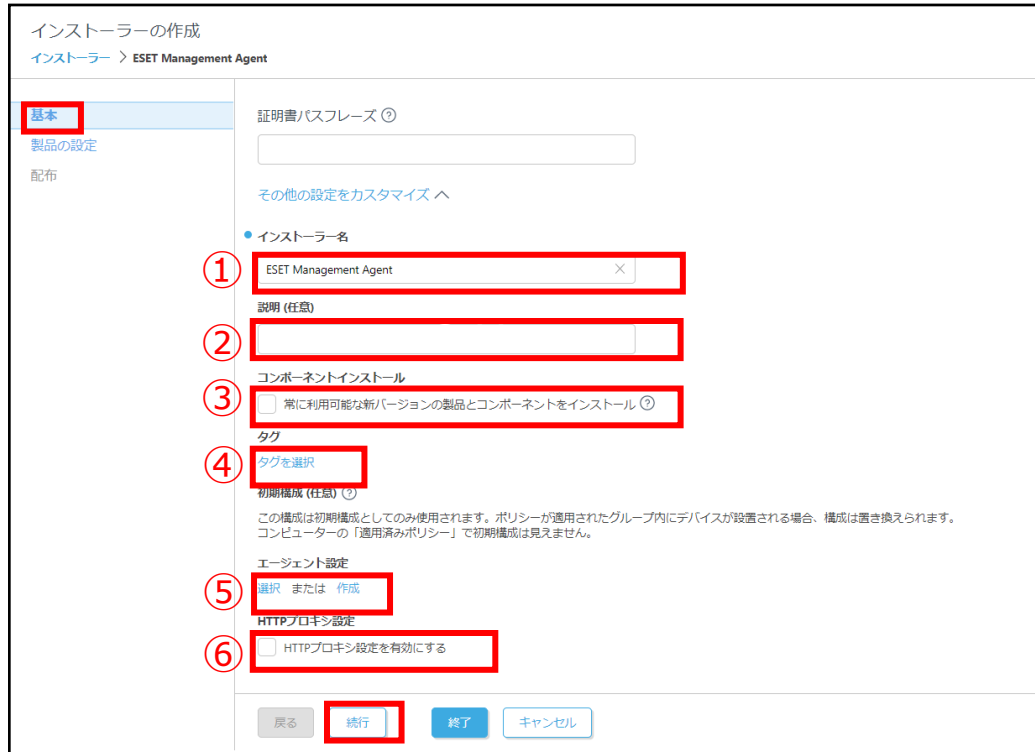
戻る 続行 終了 キャンセル

- ① [サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)]は、管理サーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
- ② [ポート]に通信に使用するポート番号を入力します。
※既定で「2222」が入力されています。
- ③ [ピア証明書]では、「ESET PROTECT 証明書」か「カスタム証明書」のどちらかを選択します。
※本資料では、ESET PROTECT 証明書を選択しています。
- ④ [ESET PROTECT 証明書]にて、証明書を選択します。
※既定で選択されます。
- ⑤ 証明書にパスフレーズを設定している場合は、入力します。

2. インストーラーの作成

詳細画面

[基本]の[その他の設定をカスタマイズ]項目を設定します。必要事項を入力し、[続行]をクリックします。



- ① [名前]を入力します。
- ② [説明]は任意で入力します。
- ③ [コンポーネントインストール]は、このインストーラーを長い期間使用する場合に設定します。
- ④ [タグ] は任意で設定します。
※タグにて、キーワードを設定すると、検索に利用できます。
- ⑤ [エージェント設定]では、エージェントに組み込みたいポリシーがある場合は、任意で選択します。
- ⑥ [HTTPプロキシ設定]は、ご利用のネットワーク環境に応じて設定します。
※エージェントとEP間や、エージェントとインターネット間の通信で、HTTPプロキシを経由する場合は、⑤で別途ポリシーを設定します。
そのためここではチェックを入れません。

<参考> ESETオンラインヘルプ ポリシーウィザード 新しいポリシーの作成

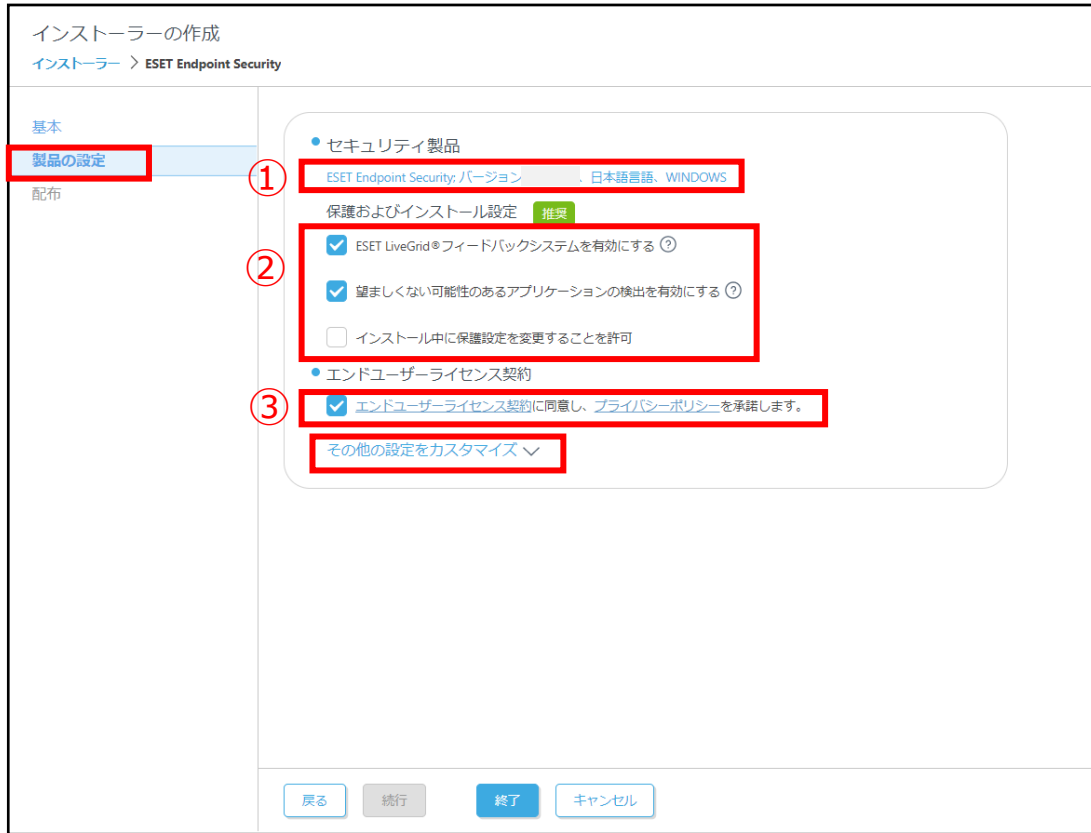
https://help.eset.com/protect_admin/11.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html

【HTTPプロキシ経由設定箇所】 製品にて[ESET Management Agent]を選択します。[詳細設定]の[HTTPプロキシ]より入力してください。

2. インストーラーの作成

セキュリティ製品の設定

[製品の設定]の項目に遷移し、必須項目を選択し、[その他の設定をカスタマイズ]をクリックします。



インストーラーの作成
インストーラー > ESET Endpoint Security

基本
製品の設定
配布

① セキュリティ製品
ESET Endpoint Security: バージョン 日本語言語, WINDOWS

② 保護およびインストール設定 推奨
☒ ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする ①
☒ 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする ②
☐ インストール中に保護設定を変更することを許可

③ エンドユーザーライセンス契約
☒ エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。

その他の設定をカスタマイズ

戻る 続行 終了 キャンセル

- ① [セキュリティ製品]で、インストールする製品とバージョンと言語を選択します。
※既定で選択されます。
- ② [ESET LiveGridフィードバックシステム]と[望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出]では任意の設定を選択してください。
※「ESET LiveGrid」を有効に設定すると、本プログラムが新しい脅威を発見した場合にESET社へその情報を提出します。
- ③ 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」にチェックを入れます。

2. インストーラーの作成

セキュリティ製品の設定

[製品の設定]の[その他の設定をカスタマイズ]項目を設定します。 必須項目を選択し、[終了]をクリックします。
※フルディスク暗号化製品、 ESET Inspect Connectorを利用する場合、下にスクロールします。



- ① [ライセンス]を選択します。
※既定で選択されます。
※ライセンスを選択していない場合、インストール時にアクティベーションを求められますので、必ず選択しておきます。
- ② [設定]でクライアントプログラムにポリシーを組み込みたい場合、ポリシーを選択します。
※クライアントとインターネット間の通信でHTTPプロキシを経由する場合は、別途ポリシーを組み込む必要があります。
- ③ [ESET AV リムーバーを実行]にチェックが入っていないことを確認します。
- ④ [モジュールインストール]は、ご利用のネットワーク環境に応じて設定します。
※オフライン展開の場合はチェックを入れます。

<参考> ESETオンラインヘルプ ポリシーウィザード 新しいポリシーの作成

https://help.eset.com/protect_admin/11.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html

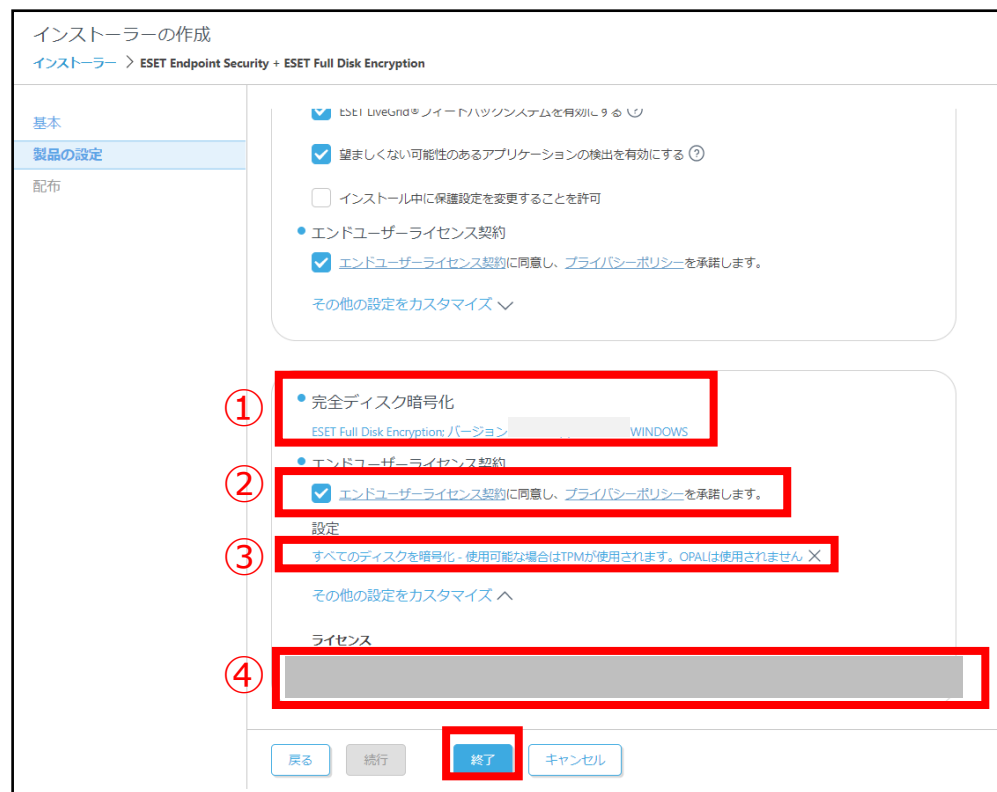
【HTTPプロキシ経由設定箇所】 製品にて[ESET Endpoint for Windows]を選択します。[ツール]の[プロキシサーバー]より入力してください。

2. インストーラーの作成

フルディスク暗号化製品の設定

※フルディスク暗号化製品を利用する場合のみ設定してください。

製品[完全ディスク暗号化製品]の項目に遷移し、必須項目を選択し、[終了]をクリックします。



- ① [完全ディスク暗号化]で、インストールする製品とバージョンと言語を選択します。
※既定で選択されます。
- ② [エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。]にチェックを入れます。
- ③ [設定]で、任意のポリシーを設定します。
- ④ [ライセンス]を選択します。
※既定で選択されます。
※ライセンスを選択していない場合、インストール時にアクティベーションを求められますので、必ず選択しておきます。

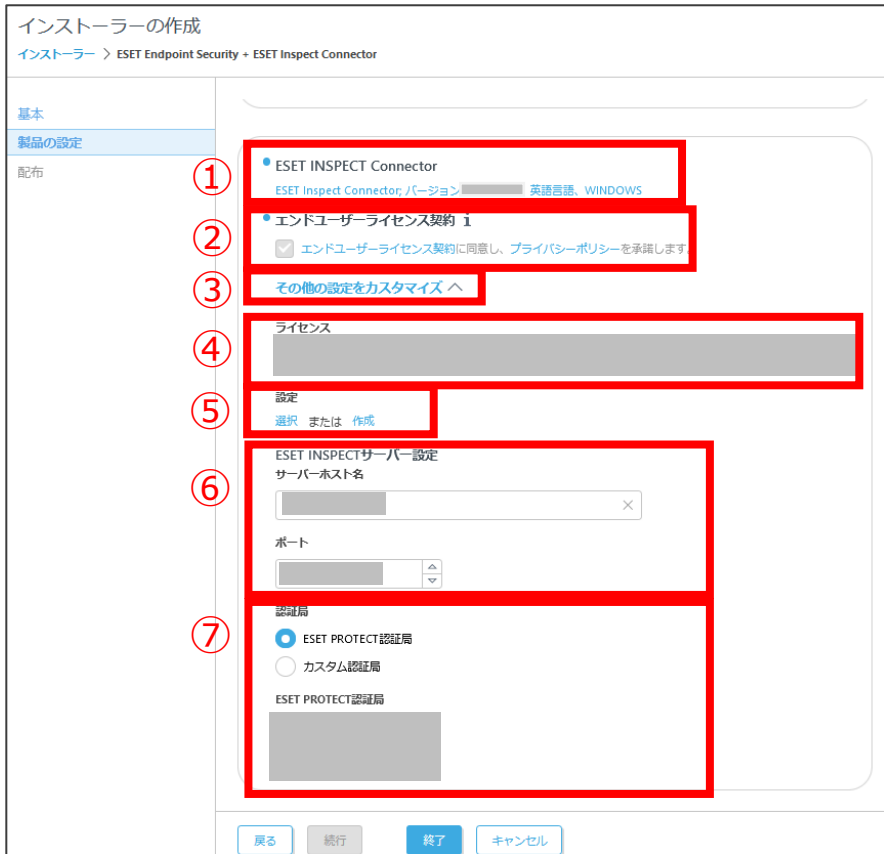
＜参考＞ ESETオンラインヘルプ ポリシーウィザード 新しいポリシーの作成
https://help.eset.com/protect_admin/11.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html

2. インストーラーの作成

ESET Inspect Connectorの設定

※ ESET Inspect Connectorを利用する場合のみ設定してください。

製品[ESET Inspect Connector]の項目に遷移し、必須項目を選択し、[終了] をクリックします。



- ① [ESET Inspect Connector]で、インストールする製品とバージョンと言語を選択します。
※言語は英語のみとなります。
- ② [エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。]にチェックを入れます。
- ③ [その他の設定をカスタマイズ]をクリックする。
- ④ [ライセンス]を選択します。
※既定で選択されます。
※ライセンスを選択していない場合、インストール時にアクティベーションを求められますので、必ず選択しておきます。
- ⑤ [設定]で、任意のポリシーを設定します。
- ⑥ [ESET INSPECT サーバー設定]で、サーバホスト名・ポートを任意の値を設定します。
※ 利用しているESET Inspect on-premの情報を設定ください。
※既定のポートは8093です。
- ⑦ [認証局]で、任意の認証局を設定する。

<参考> ESETオンラインヘルプ ポリシーウィザード 新しいポリシーの作成
https://help.eset.com/protect_admin/11.0/ja-JP/admin_pol_policies_wizard.html

3. インストーラーのダウンロード

3.インストーラーのダウンロード

ダウンロード

正常にインストーラーの作成が完了しましたら、[配布]の項目に遷移できます。クライアント環境に合わせたインストーラーをクリックし、ダウンロードを開始します。

以上で、オールインワンインストーラーの作成は完了です。



ダウンロードのダイアログが表示されます。
 [閉じる]でダイアログを閉じます。
 ※ダウンロードが完了すると自動でダイアログが閉じます。

4.フォルダの作成

4. フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

インストールをサイレントで実施するために、バッチファイルを作成します。

- ・ 任意の場所にインストーラー用のフォルダを新規作成します。
（例）フォルダ名：install_setup
- ・ メモ帳を新規作成し、以下のコマンドを入力します。

```
C:¥install_setup¥PROTECT_installer_x64_ja_JP.exe --silent --accepteula
```

C:¥install_setup¥

→保存する場所（フォルダ名は任意の名前をつけてください）

PROTECT_Installer_x64_ja_JP.exe

→EPで作成したインストーラーの名前

--silent

→プログラムをサイレント（自動）モードで実行させる

--accepteula

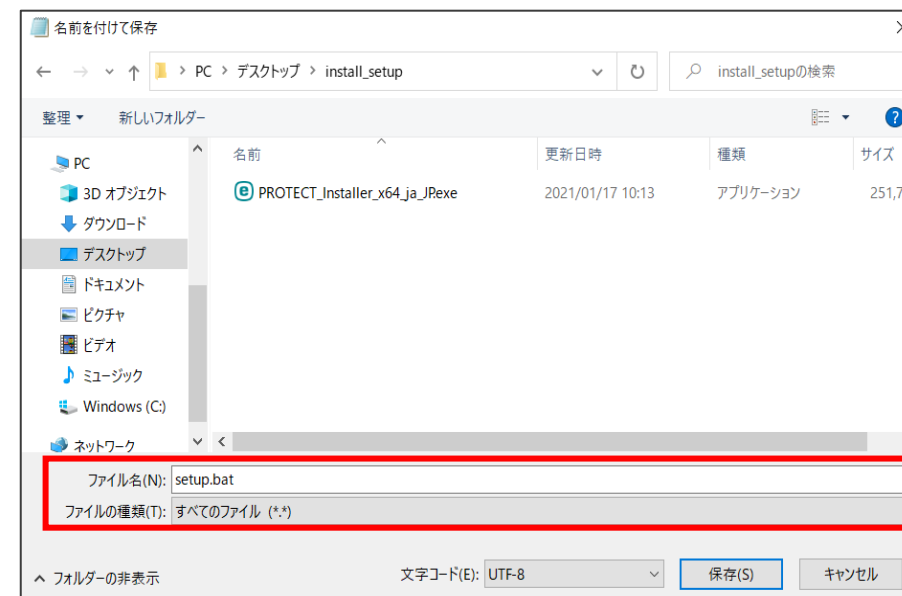
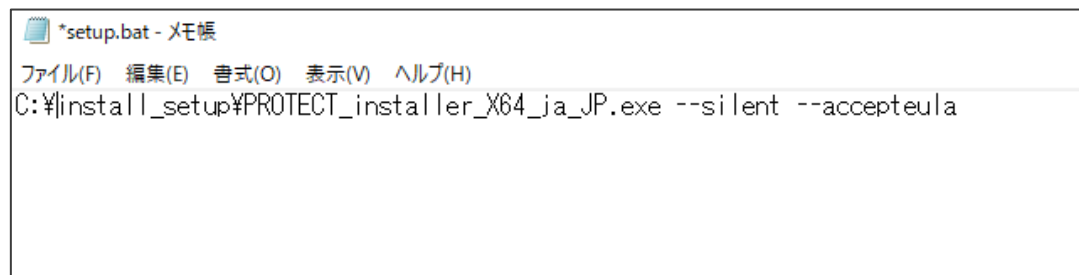
→利用規約に同意する

4. フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

[ファイル]から「名前を付けて保存」を選びます。
 ファイルの種類のプルダウンから「すべてのファイル(*.*)」を選び、任意の名前を付け、バッチファイル形式(.bat)で保存します。

(例) ファイル名 : setup.bat



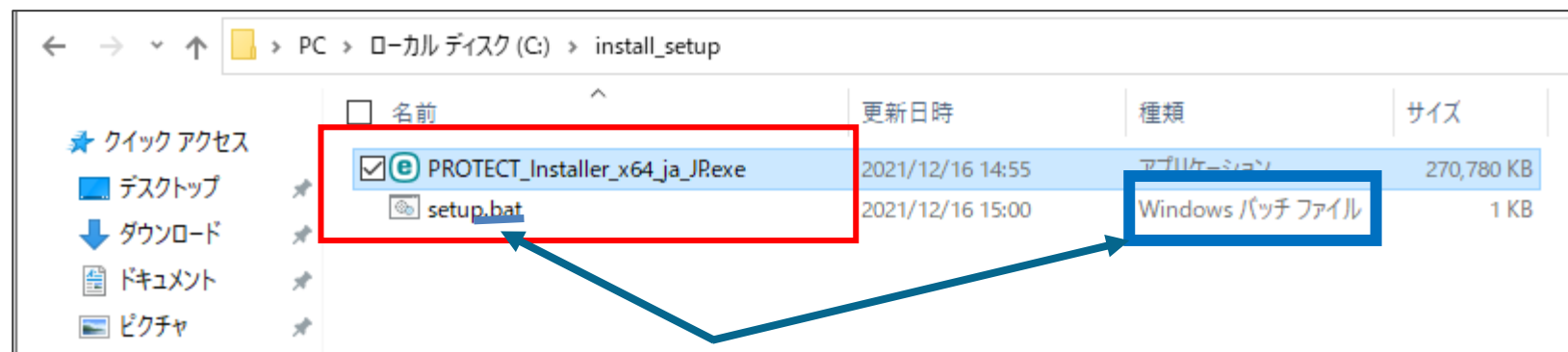
4. フォルダの作成

「バッチファイル」の作成

3. インストーラーのダウンロード(p.14)でダウンロードしたオールインワンインストーラーと4. フォルダの作成(p.16,17)作成したバッチファイルをインストーラー用のフォルダへ保存します。

※管理サーバーでの作業はここまでとなります。

フォルダをクライアントPCへ配布します。



作成したファイルが**バッチファイル**として保存されていることを確認してください。

5.インストーラーの実行

5. インストーラーの実行

インストール

クライアントPCでの作業

ここからの手順は、実際にインストールを実行するクライアントPCで作業します。



```
C:\WINDOWS\System32\cmd.exe  
C:\WINDOWS\system32>C:\install_setup\PROTECT_Installer_x64_ja_JP.exe --silent --accepteula
```

※インストール中はコマンドプロンプトを閉じないでください。
最小化は、問題ございません。

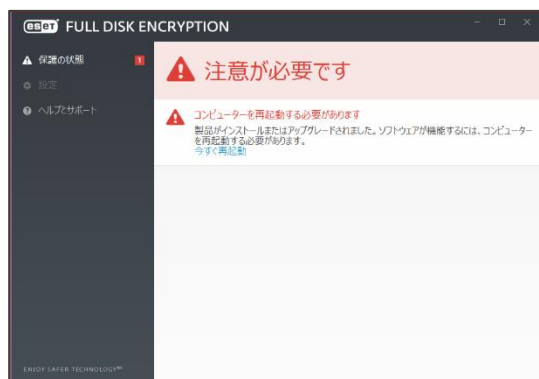
- ① 配布されたインストーラー用のフォルダを、クライアントPCのCドライブ直下へフォルダごとコピーします。
- ② コピーしたフォルダを開き、バッチファイルを右クリックします。
- ③ [管理者として実行]をクリックし、インストールを実行します。
- ④ コマンドプロンプトが表示され、インストールが開始します。
- ⑤ コマンドプロンプトが消えたら、インストール完了です。

5.インストーラーの実行

インストール

クライアントPCでの作業※完全ディスク暗号化製品を利用する場合のみ発生する作業です。
再起動が求められます。(2回求められます)

1回目



2回目



- 再起動終了後、ハードディスク暗号化のパスワード設定を求められます。
パスワードを設定頂いたら、完全ディスク暗号化製品のインストールは完了です。



※バージョンによって画面イメージ
が異なる場合がございます。

5.インストーラーの実行

インストール

インストール完了後、ESETのGUIを起動し、以下の項目が確認できたらインストールは完了です。

- アクティベーションに成功している
- 初回の検出エンジンのアップデートが実施されている
- EP上でクライアントPCが管理されている

アクティベーションがされていない場合、以下のようにアラートが出ます。



6.注意事項について

6.注意事項について

本資料の手順でサイレントインストールを行う際は、以下の注意事項にご注意ください。

注意事項

- Mac、Linux向けクライアント用プログラムでは、オールインワンインストーラーを使用してインストールを実行することはできません。Windows向けクライアント用プログラムのみ使用可能です。
- ESET AV REMOVER はサポート対象外です。
インストーラー作成時、[ESET AV REMOVER を有効にする] にチェックを入れないでください。
- 設定フォルダは必ずクライアントPC上の任意の場所にコピーしてからご使用ください。
- インストールを実行する際は、管理者権限のあるユーザーアカウントで実行してください。
- 上書きインストールや組み込んだポリシーによっては、再起動が必要な場合があるのでご注意ください。
- 以下の設定が自動的に選択されます。

ライセンス契約条項への同意 . . . 受諾